

令和8年度学力検査（A日程・B日程）出題の方針

1 全体の方針

中学校学習指導要領（平成29年3月告示）にそって、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、学習や実生活の場面において、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の力をみるものとする。

出題に当たっては、次のとおりとする。

- (1) 中学校における日常の学習活動に基づく内容とする。
- (2) 出題する内容が一部の領域に偏らないようにする。
- (3) 検査時間等を考慮し、適切な問題量とする。

2 各教科の内容

(1) 国語

言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能と、国語で正確に理解し適切に表現する思考力・判断力・表現力等の力をみるものとする。

漢字の出題については、学習指導要領に基づき、教科書に掲載されているものを範囲とする。

(2) 社会

「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」から均等に出題し、我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関する理解、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能と、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力をみるものとする。

(3) 数学

「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」から出題し、数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの理解、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能と、数学を活用して事象を論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりする力をみるものとする。

(4) 理科

「第1分野」、「第2分野」から均等に出題し、自然の事物・現象についての理解、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能と、観察、実験などを行って自然の事物・現象を科学的に探究する力をみるものとする。

(5) 英語

英語の特徴やきまりに関する知識及び技能と、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の3領域における、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする思考力・判断力・表現力等の力をみるものとする。

学力検査で使用する語彙については、学習指導要領に基づき、教科書に掲載されているもの及び『高知これ単』に掲載されているものを含めた基本的なものとする。なお、B日程の出題については、「聞くこと」の領域を除く。

※ A日程の「聞くこと」の領域の問題では、一部の英文の読み上げ回数を1回とする。

※ 『高知これ単』とは、学習指導要領に基づき、高知県教育委員会が作成した、中学校3年間で身に付けるべき2500語の語彙を取めた単語集である。

3 出題に当たって特に留意する点

今後一層求められる学力として、実生活等において基礎的な知識・技能を活用して課題解決を図る力が重視されていることを踏まえて、出題に当たっては特に次の点に留意することとする。

- (1) 各教科の特質に応じて、知識・技能の定着をみるとともに、思考力・判断力・表現力等をより重視した出題とする。
- (2) 根拠に基づいて論理的に思考する力や、課題解決のために構想を立て実践する力などをみるために、学習における思考過程や実生活における課題解決の場面を想定した問いを設定する。
- (3) 各教科において、必要に応じて事象や概念を的確に説明する力や、与えられた条件のもとで自己の考えを形成し他者に分かりやすく伝える力などをみるために、記述式の問題を一定割合で出題する。